

会議名	2023年度 全国自立援助ホーム協議会運営役員会 第7回		
日時	2023年 10月11日（水）13：30～17：00	場所	オンライン
出欠 敬称略	出：川口・本間・前川・江頭・江尻・鎌原・合木・國分・関口・恒松・野原 欠：串間		
○副会長挨拶			
1，全国大会について			
進捗 共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 275名の参加申し込み。キャンセルや追加申し込みの対応中。 ・ ボランティア3名…会場案内役。 ・ 日本ハムからの活動報告…懇親会開始。 ・ 協賛金445,000円。 ・ 広報委員会の記録用の写真撮影について開会式時にアナウンス。 ・ 次期開催地（九州ブロック）あいさつ。 		
2，各委員会より			
三役	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月25日家庭福祉課実務者意見交換会報告。今後の要望等に関して意見交換。実践内容がわかるような調査も今後必要か。⇒調査研究委員会と協働。 ・ 児家セン・FHとの三者提携。 合同研修や相互理解の促進は有効だが、提携まで必要かを今後も検討続ける。協議会の目指す方向、自立援助ホームの役割等も協議が必要であろう。 ・ JaSPCANの加入タイミングを検討。要件等を確認し、次回以降に検討。 ・ 児童心理治療施設との連携も図ってはどうか。 ・ ハンドブックの改訂について企画案を確認し、意見交換。 提案されたスケジュールに沿って進める。 各委員会の役割も確認、了承。 ・ あり方検討委員会について企画案を確認し、意見交換。 11月8日に初回、ブレインストーミング。 各ホームの理念や構想、将来像を語り、その後意見交換という形式も有効か。 ⇒鎌原、関口。 ・ 昨年度までの委員会の流れを汲んでいないが、今後どのように運用していくのか。役員以外のホームの参加も今後検討。 		
制度 政策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会報告。 ・ 委員会の中でもニーズに差異あり。調査研究委員会との合同委員会でニーズ調査を進めたい。 ・ 制度理解の程度にも差異があるため、実践の共有等も検討したい。 ・ 割愛ケースの扱いについて、意見交換。 		
調査 研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会（統計調査チーム）報告。 ・ 全国大会時に松本先生への相談を試みる。 ・ 小規模の調査でも良いので、積み重ねていきたい。 		
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中堅職員研修報告。参加人数36名。 4年未満の経験者が6割程度。 ・ 新任職員研修（於：神戸・12月18日、19日を予定） ・ 自立支援担当職員研修、研修担当者向け研修を企画中。 		

広報	<ul style="list-style-type: none"> ・たより発行。 ・SNS利用ガイドライン作成。 ・たより内での新規ホーム紹介が頓挫しており、Xでの紹介に切り替えていく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック長会議報告。 ・ICT化に係る調査依頼の再周知。
4, その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援に関するガイドライン案に関する委員の選出⇒前川。 	
次回	日時：2023年 11月 8日(水) 13:30～: 場所：オンライン